

スタッフ紹介

ロボット手術センター長 兼 前立腺治療センター長兼 泌尿器科部長

石田 勝(いしだ まさる) 慶應義塾大2002年卒

専門分野 泌尿器科

特に専門としている分野

尿路性器癌の診断・治療、ロボット支援手術、泌尿器科腹腔鏡手術、前立腺癌治療

学会専門医・認定医

日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医・指導責任者、ロボット支援手術認定医 (da Vinci S・Si・X・Xi・SP)、ロボット支援手術プロクター認定医 (手術指導医 膀胱・前立腺、副腎・腎(尿管))、日本ロボット外科学会専門医 (国内A級)、日本内視鏡外科学会技術認定医 (泌尿器腹腔鏡)、日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 代議員、臨床研修指導医、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了、2nd degree Master in Surgical Andrology, University of Torino、博士 (医学)、日本医師会認定産業医、慶應義塾大学医学部講師 (非常勤)

泌尿器科医長

案納 忠譜(あんのう ただつく) 慶應義塾大2013年卒

専門分野 泌尿器科

特に専門としている分野

尿路性器癌の診断・治療、前立腺肥大症に対する低侵襲手術治療、ロボット支援手術

学会専門医・認定医

日本泌尿器科学会専門医、ロボット支援手術認定医 (da Vinci Xi・SP)、ロボット支援手術プロクター認定医 (手術指導医 膀胱・前立腺)、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、臨床研修指導医、博士 (医学)、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了

泌尿器科医長

三條 丹星(さんじょう たんせい) 三重大2014年卒

専門分野 泌尿器科

特に専門としている分野

前立腺肥大症、腎細胞がん

学会専門医・認定医

日本泌尿器科学会専門医、ロボット支援手術認定医 (da Vinci Xi・SP)、日本救急医学会 JCLS プロバイダー、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了

泌尿器科医員

荒井 将至(あらい まさし) 帝京大2015 年卒

専門分野 泌尿器科

特に専門としている分野

尿路性器癌の診断・治療

学会専門医・認定医

日本泌尿器科学会専門医、ロボット支援手術認定医 (da Vinci Xi)、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了

婦人科部長

吉田 卓功(よしだ たかのり) 川崎医科大2009 年卒

専門分野 婦人科

特に専門としている分野

周産期、腹腔鏡下手術、悪性腫瘍、手術一般

学会専門医・認定医

日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医、日本がん治療認定医機構認定医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、日本ロボット外科学会ロボット支援手術認定医 (da Vinci Xi・SP)、日本ロボット外科学会国内B級ライセンス、日本婦人科ロボット手術学会 ロボット支援手術プロクター (良・悪性)、日本専門医機構認定婦人科専門医厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了

婦人科医長

田口 圭祐(たぐち けいすけ) 岩手医科大2012 年卒

専門分野 婦人科

特に専門としている分野

周産期、婦人科腫瘍、腹腔鏡下手術、ロボット支援手術

学会専門医・認定医

日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 (腹腔鏡、ロボット)、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、ロボット支援手術認定医 (da Vinci Xi)、日本ロボット外科学会専門医 (国内B級)、日本周産期・新生児医学会 新生児蘇生法「専門」コース修了、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了

外来診療表					
		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
午前	泌尿器科	荒井将至 (前立腺)	三條丹星 (前立腺)	石田勝 (前立腺・腎・膀胱・腎盂形成)	案納忠譜 (前立腺)
	呼吸器外科	—	—	井上芳正・村岡祐二	—
午後	消化器外科※	江川智久	山田暢	西山亮	森本洋輔
	婦人科※	吉田卓功	—	田口圭祐	—

※電話予約制 予約受付 9:00-17:00 ※泌尿器科 9:00-11:30 ※消化器外科・婦人科 ①13:00 ②13:30 ※呼吸器外科 13:00～13:30 医療機関からの紹介予約制



副院長 兼 消化器・一般外科センター長 兼 乳腺外科部長

江川 智久(えがわ ともひさ) 日本医大1995 年卒

専門分野 上部消化管外科 (食道・胃)

特に専門としている分野

食道がん・胃がんの鏡視下手術、ロボット支援下手術、消化器がん化学療法

学会専門医・認定医

日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医 (胃)、ロボット支援下手術 (胃) 推奨プロクター、ロボット支援手術認定医 (da Vinci S・Si・Xi)、ダビンチサージカルシステム術者資格認定、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本食道学会食道科認定医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医、日本消化器がん外科治療認定医、日本腹部救急医学会認定医・暫定教育医、日本消化管学会認定医、日本胃癌学会代議員、日本腹部救急医学会評議員、日本内視鏡外科学会評議員、日本臨床外科学会評議員、博士 (医学)、慶應義塾大学外科学教室客員准教授、東邦大学医学部客員講師、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了

消化器外科部長

西山 亮(にしやま りょう) 東京医科大2005 年卒

専門分野 一般・消化器外科

特に専門としている分野

肝・胆・脾疾患

学会専門医・認定医

日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、日本肝胆脾外科学会高度技能専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本肝臓学会肝臓指導医、日本胆道学会認定指導医、日本肝臓学会認定指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本肝胆脾外科学会評議員、日本臨床外科学会評議員、ロボット支援下脾頭十二指腸切除プロクター、ロボット支援下脾体尾部切除術プロクター、ロボット支援下肝亜区域以上 (外側区域以外) 切除プロクター、ロボット支援下総胆管拡張症手術 (暫定) プロクター、ロボット支援手術認定医 (da Vinci Xi)、博士 (医学)、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了、神奈川県立保健福祉大学 非常勤講師

消化器外科医長

山田 暢(やまだ とおる) 慶應義塾大2008 年卒

専門分野 一般・消化器外科

特に専門としている分野

下部消化管

学会専門医・認定医

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医・指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医 (大腸)、ロボット支援手術認定医 (da Vinci Xi)、ロボット支援下手術 (直腸、結腸) プロクター、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了

消化器外科医員

森本 洋輔(もりもと ようすけ) 慶應義塾大2015 年卒

専門分野 一般・消化器外科

特に専門としている分野

上部消化管外科 (食道・胃)

学会専門医・認定医

日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本食道学会食道科認定医、ロボット支援手術認定医 (da Vinci Xi)、医学博士

呼吸器外科部長

井上 芳正(いのうえ よしまさ) 慶應義塾大1996 年卒

専門分野 呼吸器外科

特に専門としている分野

肺癌、自然気胸、縦隔腫瘍、臍胸などに対する胸腔鏡下手術、肺癌・縦隔腫瘍に対するロボット支援手術

学会専門医・認定医

呼吸器外科専門医、日本外科学会専門医・指導医、日本呼吸器外科学会評議員、日本肺癌学会評議員、ロボット支援手術認定医 (da Vinci Xi)、日本呼吸器外科学会認定ロボット支援手術プロクター (手術指導医)、日本ロボット外科学会専門医 (国内A級)、日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医・評議員、日本内視鏡外科学会評議員、日本がん治療認定医機構認定医、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了、臨床研修指導医、博士 (医学)、慶應義塾大学医学部講師 (非常勤)

呼吸器外科医員

村岡 祐二(むらおか ゆうじ) 信州大2015 年卒

専門分野 呼吸器外科

特に専門としている分野

肺癌、自然気胸、縦隔腫瘍、臍胸などに対する胸腔鏡下手術

学会専門医・認定医

日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医、日本外科学会 外科専門医、日本がん治療認定医機構認定医、ロボット支援手術認定医 (da Vinci Xi)



ROBOTIC SURGERY CENTER

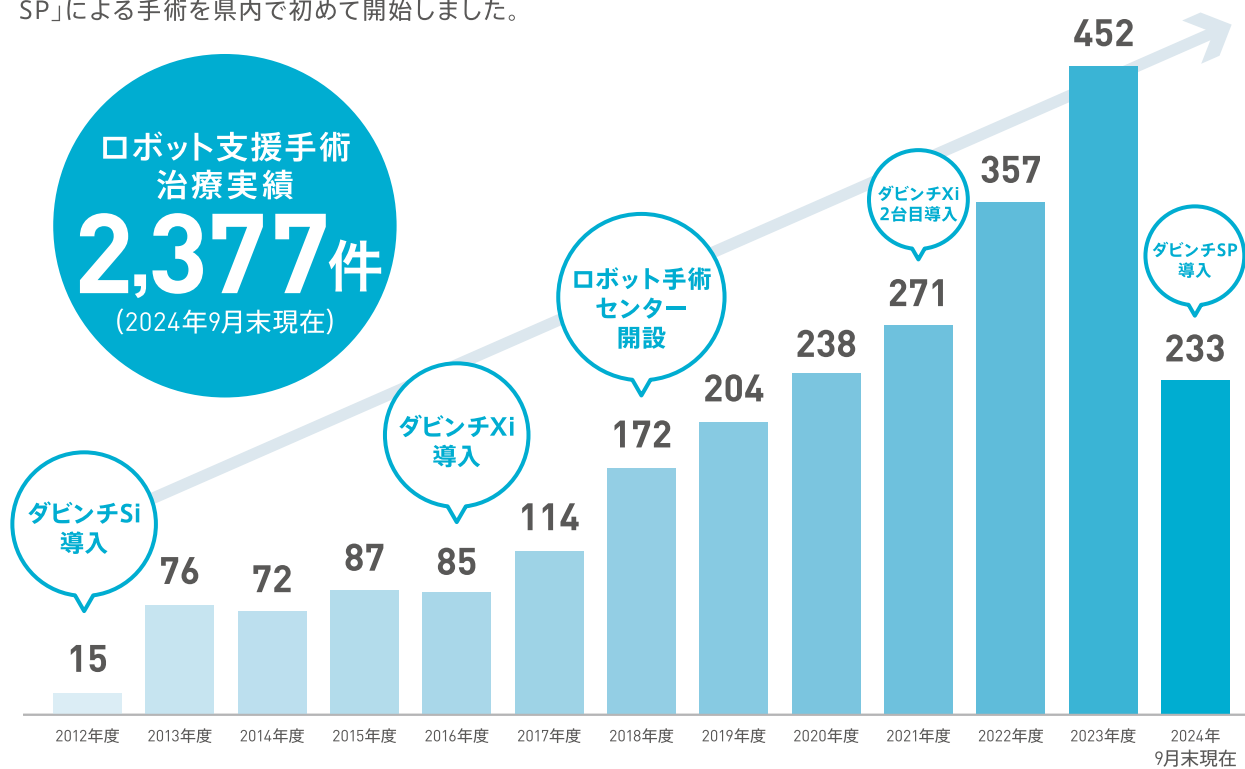
ロボット手術センターのご案内

東部病院ロボット手術センターの特長

「最新手術件数」は
こちらから



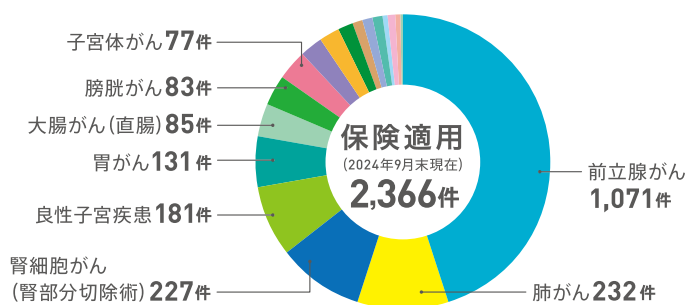
当院は、2012年に横浜市で初めて「ダビンチ」(da Vinci Surgical System)を導入。以来、ロボット支援手術の実績を重ねてきました。2016年には県内で初めて最新式の「ダビンチXi」にバージョンアップ。2018年にロボット手術センターを開設し、ロボットを効率的に運用する体制を整えました。現在、最短2週間の待機期間で手術が可能です。2021年7月には2台目の「ダビンチXi」を導入し、2024年10月には単孔式手術支援ロボット「ダビンチSP」による手術を県内で初めて開始しました。



東部病院のロボット支援手術

ロボット支援手術の対象疾患

- ✓ 前立腺がん
- ✓ 胃がん
- ✓ 大腸がん(直腸)
- ✓ 良性子宮疾患
- ✓ 腎盂・尿管がん
- ✓ 腎細胞がん
- ✓ 肝臓がん
- ✓ 子宮体がん
- ✓ 褐色細胞腫
- ✓ 膀胱がん
- ✓ 膵体尾部腫瘍
- ✓ 大腸がん(結腸)
- ✓ 骨盤臓器脱
- ✓ 肺がん
- ✓ 腎盂尿管移行部狭窄症
- ✓ 膵頭部腫瘍
- ✓ 副腎腫瘍
- ✓ 縦隔腫瘍(重症筋無力症の合併含む)



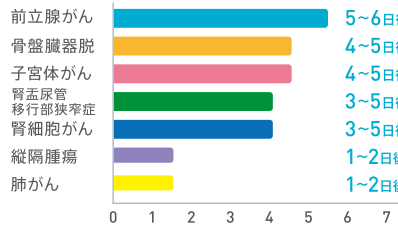
術後の早期回復

手術支援ロボットは、これまでの腹腔鏡下手術よりも緻密で複雑な手術操作が可能で、より難しい手術にも対応することができます。また、腹腔鏡下手術と同じ内視鏡手術のため、患者さんの身体への負担が少ない低侵襲な治療です。手術支援ロボットによる手術は、術後の早期回復が大いに期待できます。

ロボット支援手術のながれ

- 1 患者支援センター受診
- 2 手術前日入院
- 3 手術
- 4 手術後5日前後で退院

各疾患の術後から退院までの平均日数



ご挨拶

東部病院が担う最先端医療の柱の一つとして、横浜で初となるロボット支援手術を2012年に導入しました。ロボット支援手術は低侵襲であることに加えて、高い操作性により従来の手術を超える精密で確実な手術を実現してきました。2024年10月、東部病院はあらたな単孔式手術支援ロボットda Vinci SPによる手術を開始しました。da Vinci SPは、ロボットアームがひとつの創から体内に入り手術を行うため、患者さんの負担はさらに軽減され、手術後のキズはより目立たなくなります。また手術支援ロボットは3台の体制となり、より多くの患者さんが短い待機期間で手術を受けられるようになります。2,300例を超える豊富な手術実績をもとに質の高い医療を提供し、地域の皆さまの信頼に応えてまいります。

ロボット手術センター長 石田 勝

ロボット手術センター

泌尿器科

このたび導入したda Vinci SPは、ひとつの創で手術ができる事に加えて、手術侵襲が少ない後腹膜アプローチのロボット支援手術を、これまでより適応を拡大して行う事ができます。前立腺がん、腎がん、腎盂尿管がん、副腎腫瘍、腎盂尿管移行部狭窄症などに対してda Vinci SPを使用した手術を順次行ってまいります。泌尿器科では前立腺がんを中心に1,000例を超えるロボット支援手術の実績があります。新しいロボットとともに、一歩先の医療を提供します。

【実施手術】 前立腺全摘、腎部分切除術、腎摘除術、膀胱全摘、腎盂形成術、腎尿管全摘術、副腎摘出術、副腎摘出術(褐色細胞腫)、仙骨腔固定術

婦人科

当院ではキズを少なくしてカラダの負担を減らすロボット手術を実施しています。子宮筋腫や子宮腺筋症などの良性疾患において、vNOTES(すべて腔から行う腹腔鏡下手術＝おなかにキズが残りません)とロボット手術を組み合わせることで、大きな腫瘍にも対応しております(適応に関しては外来担当医まで)。悪性疾患に関してはロボット手術により、術後3日目での早期退院、早期回復につながります。またロボット新機種の導入により、臍のみのキズ(臍の縁にキズがはいるので見えにくい)から手術を行うことも可能となり、これまでになく低侵襲手術の提供が可能となります(適応に関しては外来担当医まで)。当科では産婦人科領域でまだ数少ない日本内視鏡外科学会認定のプロクター(手術指導医)が在籍しており、安心して手術を受けていただく体制を整えています。腫瘍の大きさや、手術歴、BMIなどの点から、他院で開腹手術のお話が出た方に関しても、ご相談を受け付けております。

【実施手術】 子宮全摘、準広汎子宮全摘(骨盤リンパ節郭清術)、仙骨腔固定術

外科

消化器外科では、2013年からいち早くロボット支援下手術を導入しました。現在では、胃切除、結腸・直腸切除、肝切除、脾切除など、ほぼすべての領域でロボットを用いた手術を行っており、症例数も年々増加しています。また、外科領域ではまだ少ないプロクター(手術指導医)も、すべての領域で在籍しています。今後、da Vinci SPの導入に伴い、消化器外科でも順次対応していく予定です。

【実施手術】 膵頭十二指腸切除、膵体尾部切除、肝切除、幽門側、胃切除、噴門側胃切除、結腸切除、直腸切除

呼吸器外科

当院の呼吸器外科は2020年9月の開始から2024年7月までに累計280件以上、年間約100件のロボット手術を施行している国内有数の施設です。従来の胸腔鏡手術と比較して、はるかに緻密で複雑な操作が可能なロボットの強みを十全に活かし、入院期間延長の最大の要因である術後気漏を減少させること等により、無理なく早期退院を実現しています。入院期間は国内でも最短レベルで、通常は手術後1~2日で退院可能です。

【実施手術】 肺悪性腫瘍手術、縦隔悪性腫瘍手術、良性縦隔腫瘍手術

お任せあれ！



ロボット手術センター
公式キャラクター
ロボくん

ご紹介をお待ちしております

患者さんをご紹介いただく際は紹介状をお渡しいたき、受診希望日の初診受付時間に1階「総合受付」へお越しくださるようご案内ください。ご予約いただくことも可能です。ロボット手術外来初診予約の方は代表電話045-576-3000(受付時間 平日9:00~17:00)におかけいただくほかWEB予約もご利用いただけます。

当院は原則紹介制です。紹介状がない場合は、保険外併用療養費として7,700円を患者さんにご負担いただいております。